

2024年1月31日  
株式会社三菱UFJ銀行

## CREロジスティクスファンド投資法人と「グリーンローン」を成約

株式会社三菱UFJ銀行（取締役頭取執行役員 <sup>はんざわ じゅんいち</sup>半沢 淳一、以下「当行」）は、CREロジスティクスファンド投資法人（執行役員 伊藤 毅、以下「同投資法人」）との間で、同投資法人が策定したグリーンファイナンス・フレームワーク（以下、「同フレームワーク」）の適格クライテリアを満たす物件（「ロジスクエア久喜Ⅱ」、「ロジスクエア浦和美園」、「ロジスクエア新座」及び「ロジスクエア守谷」、以下「本物件」）を資金使途とした「グリーンローン」によるタームローン契約（以下「本ローン」）を締結いたしました。

本資金使途における設備資金は、同フレームワークに基づいて、十分な環境改善効果が見込まれ、且つ、環境面における潜在的にネガティブな影響への配慮がなされているプロジェクトとしての確認がなされたものです。同フレームワークは、株式会社日本格付研究所（JCR）より、第三者評価（最上位の「Green1（F）」）を取得しています。

同投資法人は、物流関連施設を投資対象とするJ-REITとして、2018年2月に東京証券取引所不動産投資信託市場に上場しました。スポンサーは、物流不動産専門の不動産会社である株式会社シーアールイー（CRE）であり、CREグループの総合力を活用してテナントニーズを満たす良質な物流関連施設の取得を重ね、資産規模は約1,600億円に到達しました。

CREグループは、「永・徳・環」という経営理念を掲げています。①社会の発展のため、永続的に貢献していく姿勢を示す「永」、②他者と社会の利益を考えて行動する「徳」、③社会との繋がりを大切にし、循環する未来社会の創造を目指す「環」の実現に向けて、同投資法人のスポンサーであるCREは、環境への配慮のため、物流施設の開発段階におけるBELS評価の取得を推進しており、太陽光パネルの設置、LED照明の導入、環境性能の高い外壁パネルの採用等環境に配慮した開発を行っています。

同投資法人は、このような環境に配慮した物流施設を取得することが、社会の持続的成長につながるものと考えており、同フレームワークにおいてポートフォリオの95%以上（床面積ベース）がグリーン適格資産となるように物件取得を行っていく方針です。また、同投資法人は、環境に配慮した物流施設を取得することに加え、環境改善に資すると考えられる追加設備の導入等を積極的に検討していきます。

### <本ローンの概要>

契約締結日	2024年1月31日
ローン金額	6.5億円
資金使途	グリーン適格資産の取得に伴う借入金の返済
貸出人	株式会社三菱UFJ銀行

<本物件概要>

施設名称 ロジスクエア久喜Ⅱ  
所在地 埼玉県久喜市八甫字前谷 1390 番地 5

主要用途 物流施設  
延床面積 11,511.22 m<sup>2</sup>  
環境認証 CASBEE-埼玉県 A ランク  
(2016 年 7 月 7 日認証取得)  
BELS 評価★★★★★  
(2017 年 2 月 24 日認証取得)

物件外観



ロジスクエア浦和美園  
埼玉県さいたま市緑区大字大門字東裏  
2500 番地 他

物流施設  
48,738.29 m<sup>2</sup>  
CASBEE-不動産 S ランク  
(2021 年 3 月 29 日認証取得)  
CASBEE-埼玉県 A ランク  
(2016 年 1 月 15 日認証取得)  
BELS 評価★★★★★  
(2017 年 2 月 20 日認証取得)



施設名称 ロジスクエア新座  
所在地 埼玉県新座市中野 1 丁目 13 番 20 号  
主要用途 物流施設  
延床面積 25,355.82 m<sup>2</sup>  
環境認証 CASBEE-不動産 S ランク  
(2022 年 3 月 31 日認証取得)  
CASBEE-埼玉県 A ランク  
(2017 年 3 月 27 日認証取得)  
BELS 評価★★★★★  
(2017 年 2 月 17 日認証取得)

物件外観



ロジスクエア守谷  
茨城県守谷市松並青葉二丁目 8 番地 2 他  
物流施設

32,904.90 m<sup>2</sup>  
CASBEE-不動産 A ランク  
(2021 年 3 月 29 日認証取得)  
BELS 評価★★★★★  
(2017 年 5 月 26 日認証取得)



株式会社三菱 UFJ フィナンシャル・グループは、「MUFG Way」の中で「世界が進むチカラになる。」を存在意義（パーパス）と定め、持続可能な環境・社会の実現に向けて、お客さまをはじめとする全てのステークホルダーの課題解決のための取り組みを進めています。引き続き、お客さまの ESG の取り組みを支援し持続的な成長を後押しすることで、環境・社会課題の解決に貢献してまいります。

以 上